

## 令和6年度第1回一関市廃棄物減量等推進審議会会議録

- 1 会議名 令和6年度第1回一関市廃棄物減量等推進審議会
- 2 開催日時 令和6年7月2日（火）午後1時30分から午後2時42分まで
- 3 開催場所 一関市役所 2階大会議室A
- 4 出席者
  - (1) 委員 佐藤和久委員（会長）、小坂和廣委員（副会長）、狩野勝彦委員、小野寺真澄委員、菅原寿基委員、吉川真理子委員、千葉耕三委員、千葉あけみ委員、佐藤文橘委員、須藤章委員、三浦友子委員  
※欠席者 兜千尋委員、橋本華恵委員、菅原幸子委員、千葉幸子委員
  - (2) 事務局 菅原稔市民環境部長、宮野剛輔生活環境課長、佐藤寛幸生活環境課環境衛生係長、庄子淳也生活環境課主任主事、伊藤孝志生活環境課主任
  - (3) オブザーバー 菅原彰一関地区広域行政組合一関清掃センター所長

### 5 議題

一般廃棄物の減量化及び資源化に対する取組について

- (1) 令和6年度一関市一般廃棄物減量実施計画について

### 6 公開、非公開の別 公開

### 7 傍聴者 2人

### 8 会長挨拶

本日は実施計画についてということです。事前に資料が送られておりますので、主にこの資料についての議論になると思います。

できるだけごみを減らさなければならない中で、実際はなかなか減らないということで、皆様のアイデアや考えがございましたら、ぜひお出しいただきたいと思います。よろしくをお願いします。

### 9 部長挨拶

本当にお忙しい中、一関市廃棄物減量等推進審議会に出席いただきまして、ありがとうございます。

この廃棄物減量等推進審議会は、一般廃棄物の減量等に関する事項を審議していただくために、設置されているものであります。

本日は一般廃棄物減量実施計画の今年度の取組について皆様からご意見をいただくため開催しております。

廃棄物の減量化及び資源化について定めている一般廃棄物減量基本計画は、一関市総

合計画の分野別計画であります、一関市環境基本計画の個別計画として位置づけられており、令和4年度から令和8年度までを計画期間としております。

この一般廃棄物減量基本計画に基づき、毎年度策定してありますが、この一般廃棄物減量実施計画であり、廃棄物の減量化及び資源化について市民の皆様や事業者の皆様にご協力をいただきたい具体的な内容をこの計画にお示しさせていただいているものであります。

さて、昨年度から行っている事業でございますが、岩手県のプラスチック再商品化事業者開拓支援事業にニッコー・ファインメック株式会社様が取り組んでいる製品プラスチック収集に市としても協力しており、今年度も継続予定となっております。燃やせないごみとして処理している製品プラスチックの再資源化は、新たな一般廃棄物処理施設整備につきましても検討が進められているものであります。

また、一関市と平泉町で構成する一関地区広域行政組合の事務であります、「指定ごみ袋を使用しない資源ごみの収集方法」を検討するため、コンテナ等による資源ごみの回収を集積所などで試行的に実施し、具体化に向けた課題や効果測定の検証を行うこととしています。

新たな一般廃棄物処理施設整備と並行して、今後の廃棄物の処理方法や収集の方法について、一関地区広域行政組合が主体となり、一関市や平泉町が一体となって検討を進めておりますが、廃棄物の減量資源化については、市民の皆様のご理解、ご協力が不可欠であり、計画をより効果的に進めていくため、委員の皆様から忌憚のないご意見を頂戴したいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

## 10 審議内容

### (1) 一般廃棄物の減量化及び資源化に対する取組について

資料に基づき、事務局が説明を行った。以下、委員からの質問等。

委員 各市町村でかなりリサイクル率、最終処分量の違いが明確だと思うが、要因について何か情報があったら教えてほしいということがまず一点、それからごみ問題対策巡視員からの情報収集の内容を教えてください。

事務局 焼却灰を最終処分するのではなく、熔融炉によりコンクリート材料などとして資源化しているところが、リサイクル率が非常に高くなっているのではないかと。

宮古、釜石などの海産物の事業が盛んなところが、やはり1人当たりの排出量が多くなっているのではないかと思うが、確証はない。

一関清掃センターの焼却灰のうち飛灰は一般特定廃棄物であり、直接埋めるのではなくフレコンバッグに入れ、50センチの覆土の上に置きその上に50センチ

チの覆土をする方法になっており、覆土までが埋立量になっているので最終処分量が若干増えている。

巡視員の活動については集積所でイエローシールを張られたものを持ち帰らない家庭があり、巡視員が中心になり分け直しているところもあり、ご苦労をおかけしている。

委員 使用済み小型家電回収は東京オリンピック金メダルを作るということで始まったが、メタルを取り出すよりそのまま捨てる方が安いのではないか。メタルを取り出す場合とそのまま捨てる場合との金額の差はどのくらいあるのか教えてほしい。

事務局 処理の金額は持ち合わせていないが、限りある資源ということで金額だけでは測れないこともあると思う。

委員さん（メタルリサイクルに係る会社の方）いかがですか。

委員 金額についてお話はできないが、仕事としてきちんとやっているのだから、事業として成り立っている。ぜひ、一度見学に来てほしい。

委員 有価物集団回収はずっとやっている事業か。実績があれば教えてほしい。

事務局 これは継続している事業。令和4年度は、子供会やスポーツ少年団などの団体で取り組んでいるが、団体が延べ896団体で715万5,000円の報償金をお支払いしている。実団体数は295団体なので、複数回、集団回収に取り組んでいる。

委員 有価物の集団回収事業だが、令和5年度の回収の見込み量がびんやペットボトルは計画自体が半分以下になっており、非常に低い状況になっている。

状況がコロナ以前に戻ってくると思うが、現時点での回収量の見通しはどうなっているのか。

今年の実施計画で取組項目が増えているのは、4-1-③の事業者に対して、ごみの減量化に関する啓発を実施するというのと、4-2-⑦公共施設から排出される不用品の譲渡と取組が出されているが、取組を追加することでどのくらい効果があると考えているのか教えていただきたい。4-2-⑥についても、教えていただきたい。

事務局 一つ目の有価物集団回収の推移については、新型コロナウイルス感染症が落ち着いて令和5年度は回収量、参加団体の増加を期待していたが、ちょっと下がるだろうと思う。令和4年度までは増加傾向だったが、参加団体数も下がると思う。子供会が減少しているのが大きいと思う。

びん類を回収する業者がないので、回収量が減少の見込みとなる。古紙類も

横ばいを見込んでいる。

4-2-⑥については、一関地区広域行政組合と一緒に取り組むもので、10月から12月の3か月間、資源ごみをコンテナで回収するもので、現在、公衆衛生組合連合会を通じて参加いただける団体を募集している。

⑦については、閉校した学校校舎などの公共施設から出る不用品の譲渡を「ジモティー」を通じて行いたいと思っている。

委員 昨年、花泉と大東で期間を設けて、廃棄物（製品プラスチック）の回収を行ったが今年は地区を変えて行う予定なのか。

事務局 昨年は花泉と大東の2か所で3か月間実施実証事業を行った。

今年度は8地域全地域で、日にちを設け、古着回収と使用済み小型家電回収に合わせたイベント回収で製品プラスチックの回収を計画している。

委員 集団回収でびんだけが4円で、びん以外が5円となっているのはなぜか。

事務局 びん以外は1キログラム当たりだが、びんは1本当たりとなっていることによるもの。

委員 集団回収について、子供会やスポーツ少年団が少子化の影響で少なくなっているが、団体でなければならないのか。個人では対象にならないのか。

一般の人は回収事業者が分からないので、何らかの方法で周知を図ってもらいたい。

事務局 団体が対象となっているので個人は対象にならない。

回収業者についてはホームページに載せているが、何らかの方法で周知をしていきたい。

委員 集団回収の報償金の単価を上げることはできないのか。対象となる団体が減っていく中で検討が必要ではないか。

事務局 団体には回収業者からの売上にプラスして、市からの報償金が支払われることになる。子供会がどんどん減っている代わりに行政区や自治会で取り組むところが多くなっているように思う。補助金は、これまでは金属と古紙とびん類だったが、ペットボトルは数年前から対象品目として追加になった。

次回の審議会の際に今年度の結果も報告するが、横ばいや減っていた場合は、今意見があったことも検討していかなければならないと思う。

委員 コンテナ回収は昨年、花泉や大東で行ったものを集積所で行うものなのか、詳しく知りたい。

事務局 昨年花泉と大東で行ったコンテナ回収は、製品プラスチックをコンテナ荷台で集めたもの。衣装ケースやバケツなど大きいものから小さいものまでの製品

のプラスチックを回収するのが、コンテナ回収であった。

一関地区広域行政組合で今回行おうと思っている集積所のコンテナ回収は、資源ごみをごみ袋で出さない方法で、コンテナで少し混同するが、リンゴ箱サイズのかごのようなもので回収するもの。

資源ごみを指定ごみ袋に入れなくて、集積所に持って行き、そこで箱に置いてくるようなイメージである。

今、集積所で指定ごみ袋に入れて、かん、ペットボトル、プラスチック容器包装を出していただいているが、それを家庭から持ってきて、集積所に設置してあるコンテナに入れてもらうような形の回収方法を検討している。3か月間実証してみてどういった結果になるか、分別がきちんとなっていないとか、そういう悪いことばかりでなく、指定ごみ袋を使わず助かったとか、そういった面のアンケートを取り、この実証の成果を出していきたいと考えている。

委員 4-5のエコショップいわてをネットで調べたが、スーパーやコンビニは加入しているが、飲食店は少ないので、PRが不足していると思う。この認証制度はどのくらい浸透しているのか聞きたい。

もう一つは、食品ロスの関係で、冷凍食品は便利なので冷凍庫を活用した食品ロス対策のPRはどうかと考えている。

事務局 これは岩手県が取り組んでいる事業で、やはり今お話にあったようにスーパーなどが多い。マイヤ花泉店が確かこの間更新の手続きに入ったはず。3年間では、一関では飲食店の新規・更新は取り扱ったことはない。

冷凍庫を使った食品ロス対策については良いアイデアだと思うので、周知していければと思う。

委員 コンテナ回収のコンテナはどの時点で置いていくのか。通勤の人で朝早い人もいると思うが。

事務局 コンテナを回収したときに次回のコンテナを置いてくるというのを考えている。回収業者が回収に行き、現地にあるコンテナを回収して、空のコンテナを代わりに置いてくる方式を現在想定している。

委員 これはごみを減量するための会議なので、年1回分別などの冊子は配布されるが、この他に広報とか公衛連だよりなどで年3回くらいは周知することをお願いしたい。住民の中には分別を意識していないような人もいるので周知回数を少し増やした方がいいと思う。

事務局 周知については、広報等で増やしていきたい。

11 担当課 市民環境部生活環境課